

おでかけ保育（ほし組）



今年は「お泊り保育」を「おでかけ保育」という形の日帰りで、岡山県立青少年農林文化センター三徳園に行ってきました。たくさんの大きな木々を見たり木登りしたりし、木の実拾いや落ち葉あそび、広い芝生広場でおもいきり走っての助け鬼や足跳びなどを楽しみました。また、小鳥たちの鳴き声や風の音など、自然の中でいろいろな気づきや発見を直接体験することができた1日になりました。



2020. 11. 4

岡山県立青少年農林文化センター 三徳園にて



12月

4日 避難訓練
10日 発表会リハーサル
19日 発表会
25日 誕生会／1号終業式
29日～1月3日
年末年始休園



1月

7日 1号始業式
8日 誕生会
12日 避難訓練
13日 もちつき
14日 とんど

箱ティッシュのご協力をお願いします。朝の検診の所に箱を用意しますので、園児1人につき1箱入れて名簿に〇をしてください。



さんまキャラバン

秋が旬のさんまが給食に出ました。まずはみんなでじっくり観察し、外で火をおこして焼きました。さんまの焼けるいい匂いに、みんなの視線と嗅覚が釘付けになっていました。その後は、どんなさんまが美味しいか、どんな栄養があるか、旬はどの季節か、のクイズをしました。しっかりさんまについて知識を深めた後は、待ちに待った給食の時間です。青空の下、大きな口でがぶっとかぶりつき、「おいしい！」と満足そうに食べていました。どのクラスも、おかわりまできれいに完食でした。今年の秋も、みんなでしっかり五感を使って旬を味わうことができました。



いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.39



令和2年度12月1日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086 (956) 2022
FAX 086 (956) 2023



いちょうの森こども園HPには、QRコードまたは下記のHPアドレスよりアクセスできます。
<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

『苦手克服のきっかけ作り』

毎月、各園の栄養士が月ごとにさまざまな思いを込めて献立を立てています。素材の味を大切にしたい栄養満点の給食なので、しっかり食べて大きくなって欲しいという思いもあります。そのために、苦手な野菜がある子どもどうすれば食べるかな？と日々考えながら給食を作っています。

今年度、生のパイナップルがおやつに出ました。そこで、子どもたちの目の前で皮を剥く所からやってみました。すると、見たことはあるけど切っている様子を見たことの無い子ども達が多かったようで、「そんなに切るとパイナップルが可哀そうだよ」という声も聞こえ、子ども達にしかない視点で面白いなと感じました。給食室に戻ってからも、多くの子ども達が「先生が切ったパイナップル美味しかったよ」「おかわりしたよ」「嫌いだけど少し食べてみたよ」などとたくさん感想を言いに来ました。大人には当たり前前の光景でも、子ども達にとってはこんなにも食材に興味を持つきっかけになるのだと気づくことができました。

子どもたちと一緒に給食を食べる際に、野菜を指さしながら「これはなに？」と聞いてくるので、「これは〇〇という野菜で、食べると元気になって骨も強くなるから大きくなれるよ」と伝えると、隣に座っていた友だちが「Aちゃんはお野菜が嫌いなんだよ」と教えてくれました。しかし、栄養がたくさんあると知り、さらに作った人が見ている、と理解したAちゃんは、しっかり大きな口をあけて食べていました。その姿を見て、Aちゃんの苦手克服の第一歩だなと感じました。

これからも、子どもたちが自ら興味関心を持ち、楽しい！食べたい！という気持ちを持てるように、保育者と栄養士で連携しながら苦手克服や食事のルールなども伝えていきたいと思っています。

栄養士 西岡 芽依

つぶやき・エピソード紹介

そらぐみ

11月の健脚活動で赤警市消防局東部出張所まで行きました。道のりは長く大変でしたが、到着すると2台の消防車と、1台の救急車に出迎えられて大興奮！早速中を見せてもらったり、設備の説明を受けたりし、「かっこいいな、」と大喜びでした。「あのね、ばとかーやさんがいいと思ってたけどしょうぼうしさんになりたくなった」とさっそく影響されることも達です。みんなどんな大人になるのかな？帰ってからも将来の夢の話でまた一盛り上がりしました。



にじぐみ

“葉っぱシャワー”をして遊んでいた時のことです。大きな柿の葉を降らせていたのですが、その葉っぱをAさんが頭の上に2枚乗せて「見て、うさぎ」とうさぎに変身。するとBさんは2枚を自分の目に当てて「眼鏡だよ」と自分で遊び方を考えていました。大人が思いつかないようなことも、こどもたちはすぐに思いついて面白いですね。



ほしぐみ

少し肌寒くなってきた朝のことです。AさんとBさんが保育者のもとに勢いよくやってきて、「先生！すごいのがあるんよ！こっちに来て！」と呼ばれたので、一緒に行ってみると、園庭に植えてあるキンモクセイの木にクモの巣が張っていました。クモの巣をよく見て見るとそこには朝露が…。

Aさん：「先生！きれいでしょ！私が見つけたんよ！シャンデリアみたいだね！」とBさんや周りの友達と楽しそうに会話をしていました。

こどもたちの気づき・想像力に驚かされたと同時に、きれいな物を素直にきれいと思える心に、その心をいつまでももち続けてほしいなと感じるひとコマでした。



ゆきぐみ



「もうっかい！」楽しんで一曲踊った後、絵本を見た後などに人差し指を顔の横に立てて言っています。踊っていなかった子、絵本を見ていなかった子も終わったなと思うと元気いっぱいにもうっかい」と言うので、その「もうっかい！」は本当に？と思うことも…。くり返しが楽しいね。

Aちゃんが泣いているのを見つけたBちゃん。同じようにうつぶせで寝転がって“どうしたの？”顔を覗き込んでいます。Aちゃんが楽しそうに頭を上下にゆらしてノリノリになっているときにはBちゃんも横で両手を上下にパタパタさせて喜んで、「じゃあ僕も、私も」とばかり、友達と一緒にのこをすることが楽しいはな組です。

はなぐみ



つきぐみ



園庭で好きなあそびを楽しんでいた時のこと。
Aさん「あ！ひこうきだ！」
保育者「ほんとだね。2つも飛んでるね。」
Bさん「なんかおおきさがちがう」
Aさん「おやこなんじゃない？」
Bさん「じゃあおおきいほうがおかあさんだ」
Aさん「ちいさいほうがあかちゃんだね」
A・Bさん「おかあさんとあかちゃんバイバーイ」
大人が見ると同じように見えた飛行機。少しの違いを見つけて、親子と思える発想に驚く保育者でした。

人権キャラバン



「得意なこと」「苦手なこと」認め合おう

給食が苦手な子にチクチクした心のケンオくんは「好き嫌いしたらダメ」「残したらいけんよ！」と怒って言っています。その寸劇を見ているこどもからも「なんでも食べないと元気になるよ」などの声がありました。そこでふわふわの心のジンコさんが「好き嫌いしたらダメっていうけど、嫌いな食べ物ない？」と聞くと「きのこが嫌い」「緑の野菜は嫌」といろいろ。どんな風に言われたら苦手なものも食べることができるかなと考えました。すると「好きなものと一緒に食べたらいいよ」というアイデアが出てきました。食事だけでなく、「うたが好き」「人前が出るのは嫌」など、誰にでもそれぞれに得意や苦手があるよね。発表会もあるけれど、ふわふわな気持ちになって友だちのことを応援していけたらいいねと話しました。